

漢方医学的所見の客観化に向けた取り組み

第34回 和漢医薬学会学術大会 in 福岡国際会議場

◇ 漢方診察所見客観化の推進

漢方診断は漢方特有の診察所見を基に下されるが、その診察は、患者の訴えから情報を収集する問診を含め、望診、聞診、切診のいずれもが医師などの五感を通じて行われる。

そのため、漢方診察所見が客観的に収集されているかどうかは非常に重要である。

本シンポジウムでは、主観的に採取される漢方医学的所見を客観化する必要性と、その方法までを議論した。

